

JK A 補助事業によるキャリア教育

(1) 目ざす生徒像

これからのグローバル社会の中で、社会的・職業的に自立する生徒の育成

『郷土愛に基づくグローバルな視野を持ち、将来のために今をがんばれる生徒』

『文化や考え方の異なる他者と協働して、課題発見・解決を図ることのできる生徒』

『他者の持つ文化や考え方の違いを理解し、コミュニケーションがとれる生徒』

(2) 実施内容 <http://www.city-izuka.ed.jp/futase/>

ア 企業訪問



TOTO



安川電機



九州製紙



エコタウンセンター



九州旅客鉄道



北九州空港

先端産業（TOTO・安川電機）、環境（九州製紙・エコタウンセンター）、交通（九州旅客鉄道・北九州空港）の3つの視点で地元の企業を訪問することによって、将来の産業や仕事の在り方について考えさせた。また、働くことと関連づけることによって生まれる学びに向かう態度を育成することができた。

イ 様々な職種を招聘してのワークショップ



カンボジア（染め物）



マラウイ（理数科教育）



ガーナ（理数科教育）



ガーナ（コミュニティ開発）



エクアドル（美術）



二瀬饅頭（地域の職人）



マラウイ（国際的な職業視点）

< 3年生 >

- ・海外で働いた経験がある方の話を聞くことで、グローバルな視点で、社会的・職業的に自立するためには、どのような資質・能力が必要なのかを理解し、設計した将来像を達成する道のりの困難さを聞き、自分の進路に向けての実行力を高めた。

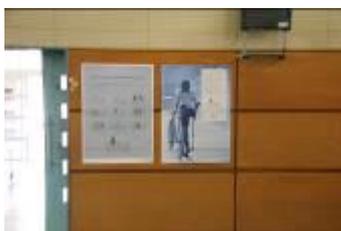
< 1年生 >

- ・海外で働いた経験がある方や地域で働いている方の話を聞くことで、グローバルな視点で、働くことの意義や社会的・職業的に自立するためにはどのような資質・能力が必要なのかを考えた。

ウ 全九州キャリア教育研究大会（外国の方と夢を語り合おう）



全体会の様子



JKAポスターによる広報



夢を語り合おう（1）



夢を語り合おう（2）



夢を語り合おう（3）



夢を語り合おう（4）

令和元年11月8日（金）全九州キャリア教育研究大会を本校で開催した。全体会及び分科会でこれまでの本校のキャリア教育研究について発表した。また、第1学年は「外国の方と夢を語り合おう」と題し、外国人留学生等とコミュニケーションをとる活動を公開した。自分の夢を外国人留学生等に伝え、様々な質問をすることによって自らの将来設計を見つめ直す事ができた。

エ 外国人を招聘しての異文化交流活動（サタデーコミュニケーション）



自己紹介

クリスマス会

レクリエーション

校区にある九州工業大学への留学生との異文化交流を全6回行った。招聘した留学生の国籍は、フランス、韓国、インドネシア、マレーシア、インド。土曜日にAll Englishで交流活動を行い、生徒たちは外国の方とのコミュニケーション能力を高めることができた。